

東京都立大学 オープンユニバーシティ飯田橋キャンパスより 7月開講講座のご案内です！！

●ミニ・パブリックス

～くじ引きと熟議による自治体政策のつくりかた～ 【講座コード：2521F003】

効果的な解決技術の開発も、それに対する人々の合意づくりも難しい複雑化する社会課題に向き合うために世界各国（政府・自治体、国際機関）ではいろいろな試みが行われています。そのひとつが「市民の熟議」への期待です。「熟議」はシティズンシップ教育としても注目されていますが、政府・自治体の政策形成への参加の点からも様々な模索が行われています。もうひとつの側面が幅広い市民の参加を得ようとする挑戦です。その代表例が古代ギリシアの取り組みに一つの源流を持つ「くじ引き」による参加を取り入れようとするものです。この講座では「くじ引きと熟議」を巡る世界の動向と、日本での実践から「くじ引きと熟議」による「ミニ・パブリックス」を「私たちのまち」の政策に活かすあり方を考えてゆきます。

【各回について】

各分野の専門家による講義と参加者のディスカッションから

進めてゆきます。

講師：三上 直之 名古屋大学大学院 環境学研究科 教授
竹内 彩乃 東邦大学 理学部 生命圏環境科学科 准教授

坂野 達郎 東京工業大学 名誉教授

コーディネーター：

長野 基 東京都立大学 都市環境学部
都市政策科学科 准教授

日時：7月26日（土）

10：00～14：30（全1回）

受講料：7,500円

場 所：飯田橋キャンパス（対面）

●意思決定の脳・神経科学

脳の働きから選択・意思決定を考える

【講座コード：2521G005】

私たちの生活は、例えば「今日の夕食に何を食べるのか?」、「物事を今日やるのか、先延ばしにするのか?」など、選択にあふれています。この何かを選択する認知過程を意思決定と呼びます。意思決定は脳の機能に支えられていますが、日々の選択の内容や結果について考えることはあっても、脳がどのように意思決定に関わっているのかについてはあまり考えることはないのではないでしょうか。本講座では、神経科学や心理学の研究の視点から意思決定の基礎になっている脳の機能と性質を紹介し、私たちが普段どのように意思決定をおこなっているのかについて考えます。

- ・価値と意思決定：価値判断は現状認識で変わる
- ・記憶と意思決定：知識と経験が意思決定を形づくる
- ・感情と意思決定：こころとからだは意思決定を左右する

・状況と意思決定：脳がそなえた意思決定の戦略

※本講座は、講師が過去に実施した「意思決定の脳科学」とほぼ同じ内容です。

講師：雨宮 誠一郎 理化学研究所
脳神経科学研究センター 研究員

日時：7月31日（木）、

8月7日（木）、21日（木）、28日（木）

19：00～20：30（全4回）

受講料：10,100円

場 所：飯田橋キャンパス（対面）

* 講座の概要については、東京都立大学オープンユニバーシティパンフレットより引用しております。（特別区協議会事業部）

※特別区職員互助組合員の方は初回のみ、必ずお電話で同組合員である旨と『組合員番号』をお申し出ください。

<問い合わせ先>

東京都立大学オープンユニバーシティ <https://www.ou.tmu.ac.jp>

Tel.03-3288-1050（平日 9：00～17：30）

●パンフレットを無料送付いたします。